

人生儀礼（通過儀礼）

還暦の祝い（かんれきのいわい）

- ▶ 古くは奈良時代からあり、室町時代には定着した

昔は短命、平均寿命も40歳くらいであった

40歳になると一族が集まり祝宴を開き、その後も十年ごとに『年祝い』を行った

- ▶ 江戸時代には、数え年60歳になると公私ともに隠居

61歳の『還暦の祝い』が人生のケジメとなった

61歳で再び生まれた年の干支に一回りして戻ることから暦が回る＝『還暦』

現在は、数え年よりも満60歳の誕生日で還暦を迎えるとする人が多い

人生儀礼（通過儀礼） 還暦の祝い（かんれきのいわい）

▶ 還暦になると・・・

一族が集まり「生まれ直すこと」を祝い、赤ちゃんの時に着ていたような赤い頭巾とちゃんちゃんこを贈って、無病息災と長寿を祝福した。

